

### 3.2.4 魚類

魚類が活発に活動し、確認しやすくなる夏季に、採捕及び目視による調査を行いました。

調査に用いた採捕道具は、河川では主に投網(目合 12 mm)とタモ網(目合 2 mm)、池ではそれらに加え、うげ<sup>(30)</sup>も併用しました。

その結果、表 3-2-4 に示す 8 目 12 科 33 種の魚類が確認されました。なお、河川別の確認種一覧は資料編の確認種目録に収めました。

表 3-2-4 魚類確認種一覧

目名	科名	種名
ウナギ	ウナギ	ウナギ
コイ	コイ	コイ、ゲンゴロウブナ、ギンブナ、キンギョ、オイカワ カワムツ B 型、カワムツ A 型、タイリクバラタナゴ アブラハヤ、ウグイ、モツゴ、タモロコ、カマツカ、ニゴイ
	ドジョウ	ドジョウ、ホトケドジョウ
ナマズ	ギギ	ギギ
	ナマズ	ナマズ
サケ	アユ	アユ
	サケ	ブラントラウト、ニジマス、アマゴ
カダヤシ	カダヤシ	グッピー
ダツ	メダカ	メダカ
カサゴ	カジカ	カジカ
スズキ	サンフィッシュ	オオクチバス
	ハゼ	スミウキゴリ、マハゼ、ゴクラクハゼ、シマヨシノボリ ルリヨシノボリ、トウヨシノボリ
8 目	12 科	33 種

注)種名および配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 11 年度河川版(リバーフロント整備センター,2000)」に従いました。

三島市内には狩野川のような河口に近い河川だけでなく、低地の河川や上流域の溪流まで様々な環境があります。そのため、マハゼなどの汽水域に生息する魚類や低地に生息するメダカ、渓流域に生息するアマゴなど様々な魚類を見ることができます。今回の調査で最も広い範囲で確認されたのはアブラハヤで、市内を流れる主な河川の他、水田の水路や三嶋大社の神池などでも確認されています。一方、分布が限られていると思われる種としては、ホトケドジョウ、カジカ、トウヨシノボリがあげられます。

今回の調査では 33 種が確認されていますが、その内の 14 種は本来三島市に自然分布していない外来種であり、現在の三島市に生息している魚類相は本来の姿とは大きく異なっているようです。これらの外来種は、1)釣りの対象として放流された種、2)放流したコイ、フナ、アユなどの種苗<sup>(31)</sup>に混入して入り込んだと思われる種、3)野外に逃げ出すか放棄された観賞魚に分けられます。確認された外来種はオオクチバスなどの国外から持ち込まれた外来種(国外外来魚)だけでなく、ゲンゴロウブナなど国内の他の地域から持ち込まれた外来種(国内外来魚)も見られました。

今回の調査で確認された外来魚の一覧は表 3-2-5 のとおりです。

表 3-2-5 外来魚一覧

区分	1	2	3
国外外来魚 (外国から持ち込まれた種)	ブラウントラウト ニジマス オオクチバス	タイリクバラタナゴ	グッピー
国内外来魚 (日本には元々生息するが、三島市に天然分布しない種)	ゲンゴロウプナ	オイカワ カワムツB型・A型 タモロコ、カマツカ ニゴイ、ギギ	キンギョ

注 1)釣りの対象として放流された種

2)放流したコイ、フナ、アユなどの種苗<sup>(31)</sup>とともに混入したと思われる種

3)野外に逃げ出すか放棄された観賞魚

なお、コイは放流が行われているが、三島市に天然分布する種であるため外来種から除いた。

タモロコ



【撮影：2002/7/18 佐野水田水路】

ルリヨシノボリ



【撮影：2002/5/19 徳倉宮川】

アユ



【撮影：2002/7/15 狩野川(新城橋)】

アブラハヤ



【撮影：2002/5/19 三嶋大社(神池)】